

## 「あなたの歯は何本？」事業 協力歯科医院アンケート

### まとめ

この事業に協力をいただいた48歯科医院の歯科医師と歯科衛生士に対して、事業終了時にアンケートを行いました。これは、事業開始に当たっては、「小樽市民の歯科口腔保健を考える会」で歯科医師会、歯科衛生士会の代表とともに話し合ってきましたが、個々の会員の声を聞きたいと考えたからです。

アンケート結果は、下に示しましたが、診療の他に歯科保健情報を伝えることはかなり負担になるなかで、大きな協力をいただいたことを改めて認識し大変ありがたく思っています。

市民への情報提供については、保健所でも行ってきていますが、専門性の高い情報を1対1で伝えることは、保健所だけではとてもできることではありません。説明を受けた方は、市内の歯科医療機関を受診した方の一部に限定されてはいますが、歯科保健についての情報を、専門家から直接聞くことで、理解が深まったのではないかと思います。

歯周疾患の予防には、成人全般へのアプローチが必要ですが、予防効果が高いと思われる年代の40～50歳代の方へも説明できたことは大変意義があると思います。

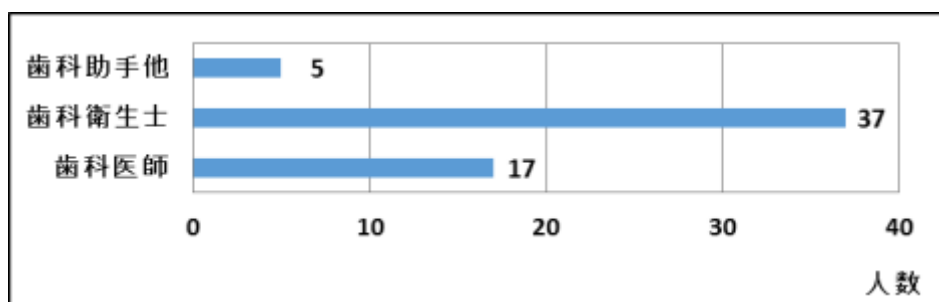
この事業を通して御協力をいただいただけでなく、今後も協力をしてくださるという回答をいただいたことにも感謝しています。今後も歯科保健事業を推進するに当たり、市内歯科医療機関と連携を図りながら取り組んでいきたいと思っています。

### アンケート結果

基本情報	実施時期	平成29年3月より4月まで
	配布歯科医院数	48箇所
	回収数	59件（歯科医院数は不明）
	有効回答数	59件

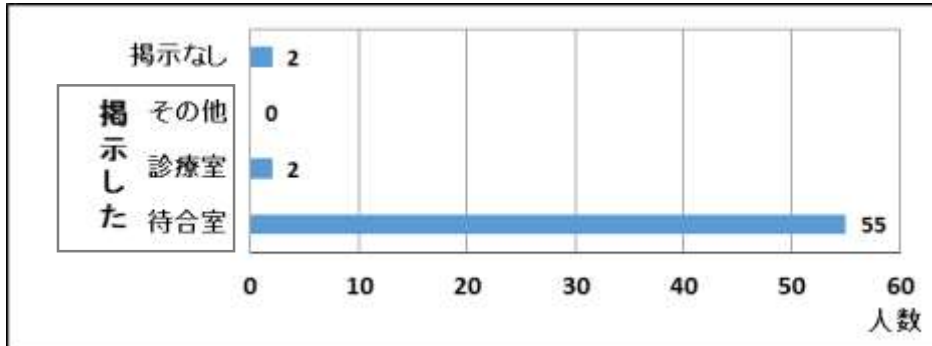
#### 問1 回答者の職種は？

この事業に携わった方に回答していただいているので、歯科医師、歯科衛生士が大半となる。



## 問2 事業のポスターを掲示しましたか？また、掲示場所は？

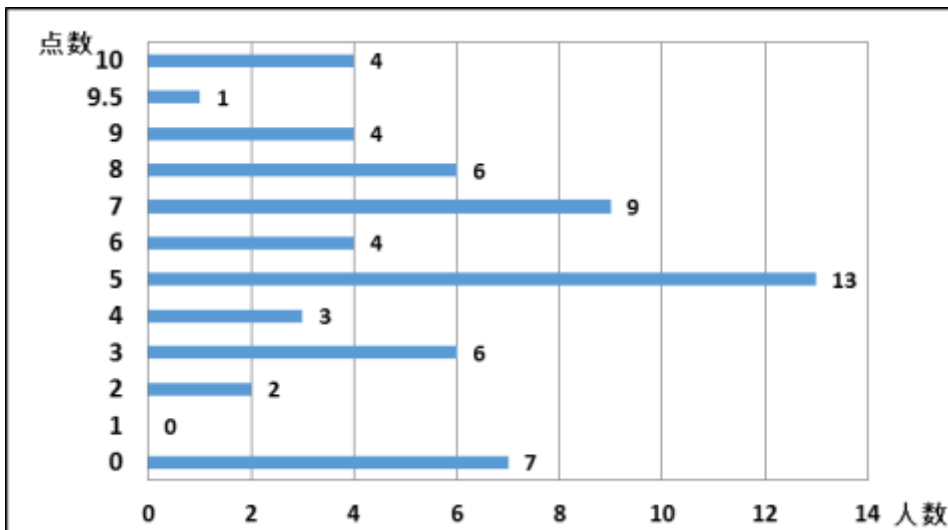
歯科医院の待合室掲示板は、情報提供の場所としては良いが、スペースの問題などもあることから、ポスターの利用を問うているが、ほとんどの歯科医院で、ポスターを掲示していた。



## 問3 事業のリーフレット説明の負担感は？

負担感最高値を10点として点数化した。

診療中にリーフレットについて説明することは、負担感を伴うが、負担感を主観的に点数化すると、全体としての平均点は5.42点と、ほぼ中間で、職種別では歯科医師が最も負担感が低く、その他の職種が高くなっている。

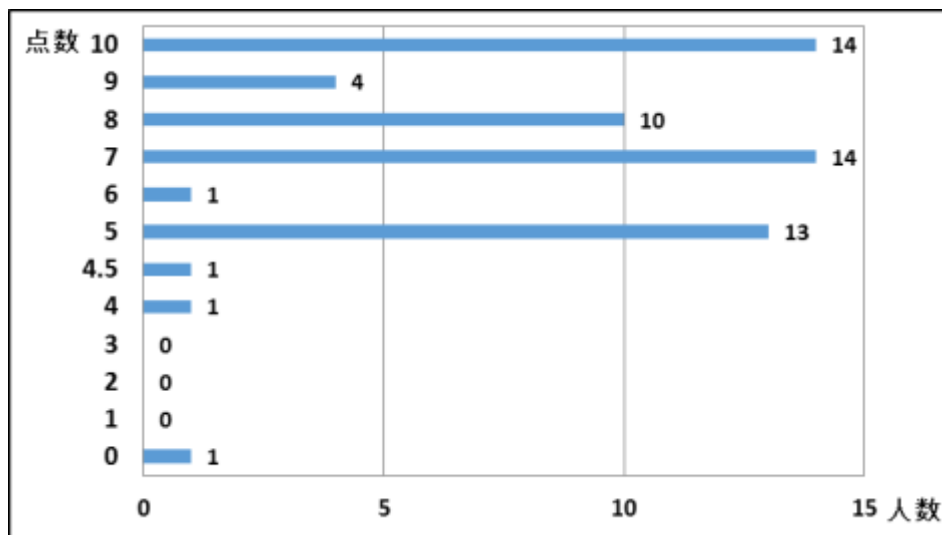


	負担感合計	件数	平均	全体平均
歯科医師	84	17	4.94	5.42
歯科衛生士	200	37	5.41	
その他	35.5	5	7.10	

#### 問4 リーフレットの内容の評価は？

最高点を10点として点数化した。

リーフレットについて点数をつけると、ほぼよいという評価となっている。全体の平均点は、7.3点である。自由記載で頂いた意見については、別途まとめた。



#### 問5 今後、保健所事業にどの程度協力できるか？（重複回答あり）

今後どの程度協力いただけるかを聞いたものでは、「リーフレット配布程度なら協力できる」が最も多くなっている。今後も歯科医院と協働で行う事業の可能性を示している。

